



平成 4 年 検 第 6 1 2 号

起 訴 状

左記被告事件につき公訴を提起する。

平成四年五月二十五日

金 沢 地 方 検 察 庁

検 察 官 検 事

金 沢 地 方 裁 判 所 殿

江 村 正



本件は、平成四年四月三十一日付け貴裁判所あて起訴した被告人に対する傷害事件と併合審理されたい

本 籍 石川県金沢市東力二丁目二八番地二
住 居 右 同 犀 畔 荘 一 号
職 業 自動車運転手

別件勾留中

廣 野 秀 樹

昭和三十九年一月二十六日生

公 訴 事 実

被告人は、先に安藤文（当二一年）に対し加えた暴行により、同女が頭蓋骨骨折、急性硬膜下血腫等の傷害を負って意識もうろうの状態となり、抗拒不能であるのに乗じて、同女を姦淫しようと企て、平成四年四月一日午後八時五分ころ、金沢市普正寺町九番地犀川左岸金石港船引上げ場横空地に停車中の軽四輪貨物自動車内において、同女が右抗拒不能の状態にあるのに乗じて、そのズボン、パンティを脱がせた上、同女を姦淫したものである。

罪 名 及 び 罰 条

準 強 姦

刑法第一七八条、第一七七条前段